



CP Global
Financial Group

Singapore | Hong Kong | China | Japan | Malaysia | New Zealand | Samoa

2017年中間報告



技術革新の波に乗ってグローバル市場
の不確実性を先取りして動き出す。

親愛なるお客様へ

多くの政治的不確実性を抱える2017年上半期

米国、英国、ヨーロッパの政治的不確実性は、2011年上半期に市場を騒がせていました。ドナルド・トランプ米大統領の税制引き下げと国内インフラ支出の約束により、トレーダーと投資家が米ドル建ての資産に転換したことから、1月の米ドル指数は15年ぶりの高水準に上昇しました。

後でわかったことだが、トランプは国の税金と医療関連分野における改革に失敗しただけでなく、ロシアとの疑わしい関係と相まって、大統領の貿易と移民に関する不本意な言い回しは、すべて下押しに繋がっていました。それ以来、彼の約束を制定していたトランプの希望も衰えてきており、その懸念はドルを大きく左右していました。

けれども、米ドルは、インフレの上昇や雇用の健全化など、より良い経済データに裏打ちされたことができたので、これにより連邦準備制度理事会は米国の金利を引き上げることがより容易になったのです。2017年上半期に、連邦準備理事会(FRB)は、大統領の政権つまづきにもかかわらず、二回の利上げを行ったが、2017年下半期に2回の追加利上げとFRBの4.5兆米ドルの貸借対照表の縮小との予想が、通貨を浮揚させるのに役立っていました。

太平洋を渡って、イギリスのテレサ・メイ首相は3月に里斯ボン条約第50条を正式に発動し、英国の欧州連合(EU)離脱をEUに正式通告しました。強固な権限を求めるごとに、ブレクジットの安定を確保するために、首相はその後、4月に解散総選挙を実施し市場を驚かせて、ポンドの高値を更新することを狙っていました。その結果として、その賭けは6月までにしほんだポンドが劇的に裏目に出てしまいました。それ以来、トレーダーと投資家は潜在的な政治的な失策と闘うため、通貨は不規則に取引されてきました。

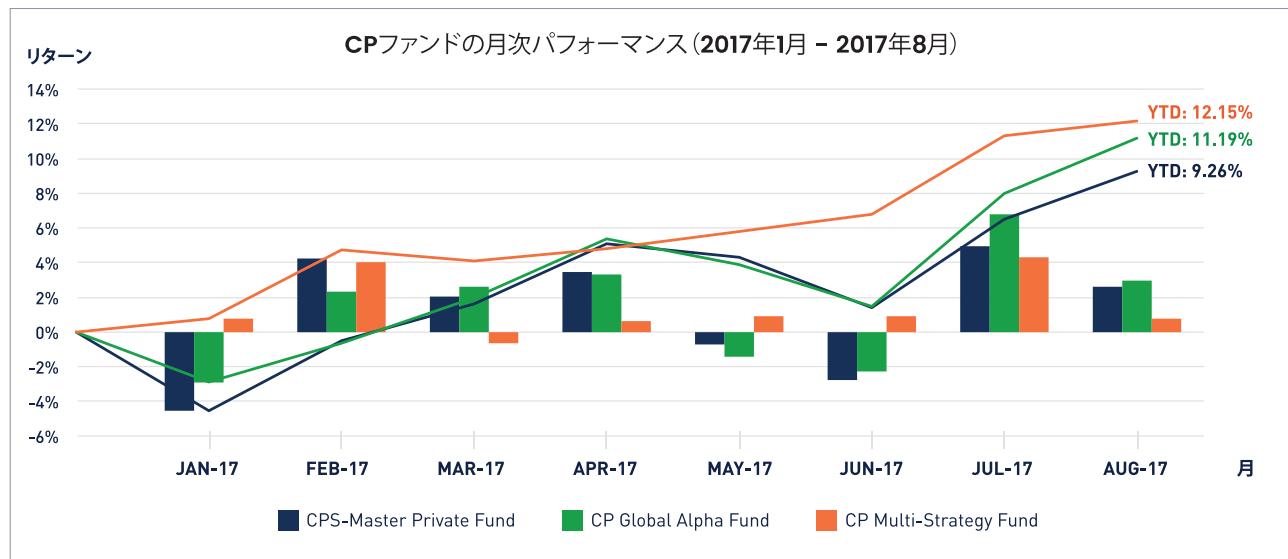
一方、欧州連合(EU)内の景気改善の動きや、欧州中央銀行(ECB)のマリオ・ドラギ会長は、流動性を注入するための債券購入プログラムである量的緩和(QE)を徐々に取り直した。ドイツからポルトガルへのより良い経済データが、ECBによる潜在的な利上げの憶測を呼び起こし、単一通貨を再活性化させたが、ドラギはユーロ高を維持するために慎重なトーンを維持しました。物事の面では、中央銀行は早期政策決定に対する強い市場反応を避けているように見えました。

全体として、世界最大の経済大国における政治的な不確実性は、2017年上半期に通貨市場全体で激しく突然の動きを起こし、取引が非常に困難になりました。



CPグローバル今までの成績

政治的な不確実性の中で、世界最大のヘッジファンドの一部は、マイナスを出しました。逆に、長期的なグローバルマクロと人工知能(AI)ベースの短期的なポジショニングを組み合わせた当社の投資アプローチを活用することにより、CPグローバルは、トランプ、ブレグジット、連邦準備制度理事会(FRB)の利上げに支えられた不安定さに対して十分な準備が整っていました。



9月1日時点での体系的かつ厳格な投資プロセスを通じて、当社は、年初来の純収益率を以下の通りで提供しています：

9.26%

CPS-MASTER PRIVATE FUND

11.19%

CP GLOBAL ALPHA FUND

12.15%

CP MULTI-STRATEGY FUND

「現在の市場状況を踏まえた際の驚異的なパフォーマンスと、優れたリスク管理プラクティスと積極的なマーケット追跡に対する強い証拠」

2017年1月から2017年8月までのクイックトレード情報

Jan 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
EURUSD	Buy	2
GBPJPY	Sell	3
GBPUKD	Buy	1
GBPUKD	Sell	3
Gold	Buy	1

Feb 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
EURUSD	Buy	4
EURUSD	Sell	1

Mar 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
EURUSD	Sell	2
GBPJPY	Sell	2
GBPUKD	Sell	7
Gold	Buy	2

Apr 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
EURUSD	Sell	1
GBPUKD	Sell	1
USDJPY	Buy	2
Gold	Buy	1

May 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
GBPJPY	Sell	1
GBPUKD	Sell	1

Jun 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
GBPJPY	Sell	2
Gold	Buy	2

Jul 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
GBPJPY	Sell	3
Gold	Buy	3

Aug 2017		
資産	オープン・トレード	頻度
GBPUKD	Sell	1
GBPJPY	Buy	1
Gold	Buy	1
Gold	Sell	1

注：“頻度”は、その月の取引数を示します。

今後の展望：世界市場における新たな転換点？

4.5兆ドルの貸借対照表をすでに懸念していることから、2010年下半期にこの書簡を書いているように、欧州、英国、カナダの中央銀行は、ほぼ10年間の非正統的なQE（量的緩和政策）を終了する準備が進んでいる可能性があると警告しました。これは、安価な信用へのアクセスが取り除かれている間に金融引き締めが行われた場合、資産価格の崩壊と資産バブルの崩壊に対する懸念がさらに高まっています。



これらの懸念は、近年の株式、債券、住宅価格を高めた10年の容易な信用によって消費が高水準になったことに起因しています。QEが終了する可能性があるため、これらの評価は現在危険にさらされています。ご参考までに、ここではQEを通じて金融拡大がどのように動作するかを説明します。QEの下、中央銀行は国債を買い戻すために新たな資金を印刷します。経済理論に基づいて、国債の売却から受け取った現金が株式に再投資されると、株式市場が上昇し、より多くの個人消費を刺激します。現金がより多くの債券を購入するために使用される場合、債券価格は上昇し、金利は低下し、借り入れは安くなります。

この拡張政策は、2008年の金融危機の後に世界的に実施されました。広い視点で物事を見るために、2008年以来、QEの下で経済に汲み上げられた金額は、危機以前の期間の合計金額の4倍であり、金融市場の歴史において最大の金印刷時代となっています。これは、持続可能な資産バブルの形成と、実際の経済成長によって引き起こされるものの代わりに、人為的楽観的な市場を奨励しました。したがって、QEなしでこれらの資産市場がどれくらいの期間サポートされているか、中央銀行がQEを終了するための決定を正確に行うことができるかどうかを確認することは重要です。

この懸念を強調しているのは、連邦準備制度理事会が貸借対照表を削減しようとしていることであり、経済から現金が流出するということです。この動きは、市場でのパニックを引き起こし、近年の経済状況を逆転させる可能性があります。懸念事項に加えて、QEの最近の規模の下で形成された資産バブルは、彼らを浮かせておく容易な信用の流れが市場から流出すると、爆発する可能性があります。したがって、我々は依然として慎重であり、政策当局からの驚きの動きや予想外の経済データを見守り続けます。

ほとんどの中央銀行はまだ金融政策を引き締めていませんが、我々は簡単で低利の融資の日々に番号が付けられていることを意識しています。

さらに重要なことは、この新たな心配の方向性は、当社が体系的なレビュー・プロセスを取引に適用し、改善することができることです。これには、当社のAI技術に基づく基本的な長期マクロ分析と短期的なポジション調整を組み合わせ、予期せぬ事態が市場のファンダメンタルズをシフトさせた場合、迅速に力を回復することができます。

例を挙げてみると、QEの再建の話が浮上し、6月に低迷になったパフォーマンスからそして、昨年11月のトランプの驚きの選挙に続いて、私たちは強く回復することができたのです。

体系的な審査プロセスの詳細については、ファンドの目論見書の「投資アプローチ」セクションをご参照ください。



2017年下半年でより多くの不確実性の中での位置決め

中期的な予期せぬ出来事は、2017年下半年の市場への懸念を引き起こしたが、政局の不透明感が継続しているにもかかわらず、中央銀行は経済のファンダメンタルズに基づいて金融政策を立てるだろうと我々は考えています。米国では、トランプは、彼の型破りな政治方法、疑わしい政策、そしてツイートの衝動的な習慣で世間の注目を浴び続けると考えています。北朝鮮や中国との米国関係に起因するテール・リスクは注意深く追跡され、管理されなければなりません。しかしながら、年初からの主要貿易相手国の通貨に対する米ドルの8%の下落は、インフレへの圧力を強めています。したがって、FRBは、金利の引き上げと貸借対照表の縮小の過程を引き続き継続すると考えています。

英国では、ブレグジットを受けてポンドの15%の低下がインフレ率の上昇をもたらしたことから、金利引き上げの市場期待は高まっています。しかし、イングランド銀行(BOE)は、消費者の実質所得は、通貨の弱さによって大幅に減少していると指摘しています。6月のイングランド銀行(BOE)総裁、マーク・カーニーの強気な憶測後の市場予想にもかかわらず、英国金融政策委員会は8月に0.25%の借り入れ率を維持し、金融政策の早期締結の下での経済の窒息を。防ぎました。MPCはまた、ブレグジットの潜在的な失策を見越して、英国の2018年成長率予想を格下げました。したがって、BOEは円滑な退場を期待しているが、2017年下半期に中央銀行の利上げ率を引き続き維持する不確実性が残っています。

何年もの財政危機と政治危機の後、EUの経済的運勢は変わっているようです。フランスやオランダでのEU加盟国の信頼感は、政治的に安定した状態を維持するのに役立っており、経済は勢いをつけています。それでも、ECB(欧州中央銀行)がより緩和的な政策に向かうに連れてリスクは残ります。ECB(欧州中央銀行)のQEの規模を考えると、中央銀行が実際に市場での騒乱を引き起こすことなく行動を起こすことができるようになるには、少なくとも12ヶ月から18ヶ月かかると我々は考えています。その間、ECBは、より強固な基本経済データの支援を受けて、逼迫した金融情勢のために徐々にそのケースを構築しているので、我々は、市場に提供される将来のガイダンスを見ていくでしょう。

日本経済は、消費と設備投資の組み合わせによって推進され、6年連続の成長率を達成しました--10年以上もの間に最長の絶え間ない軌跡になるでしょう。消費者支出と消費の増加により、日用品の価格が安定しているとの見方もあります。しかし、日本銀行は超緩和政策を堅持しているにもかかわらず、私たちは、日本銀行が急激な金融引き締めへの変化を割り引くつもりはなく、どの方向からも発生するかもしれないテール・リスクを監視していきます。

また、ドル危機は1977年に発生し、ブラックマンデーは1987年に、アジア金融危機は1997年に、サブプライム金融危機は2007年に発生したことにも気付きました。今年の最後の数字が7で終ったことが偶然であるかどうかにかかわらず、たくさんのリスクが残っています。米国と北朝鮮の間の地政学的緊張を醸成することは一つであり、主要経済国からの流動性の排除によるボラティリティの高まりもまた別の問題である。

その一方で、世界的な貿易は再び弱体化する可能性があり、これらの問題への予期せぬトランプの対応により、事態が悪化する可能性があります。その上、安価な融資の時代から株式市場と債券市場の両方が高い水準にあることから、より厳しい政策の新しい時代に向けて危機管理が我々の最優先課題となります。

大量の不確実性があるため、AIへの取り組みは、市場を発展させることによって生成される情報に注意を払うことができます。マクロ経済分析やリスク審査手続における当社の経験とそれを組み合わせることで、私たちは現在進行中の市場ボラティリティを準備し、より多くの収益性の高い取引を実行し、実行する際に私たちをサポートする技術を備えています。

我々のAIエッジで不確実な市場への取り組む

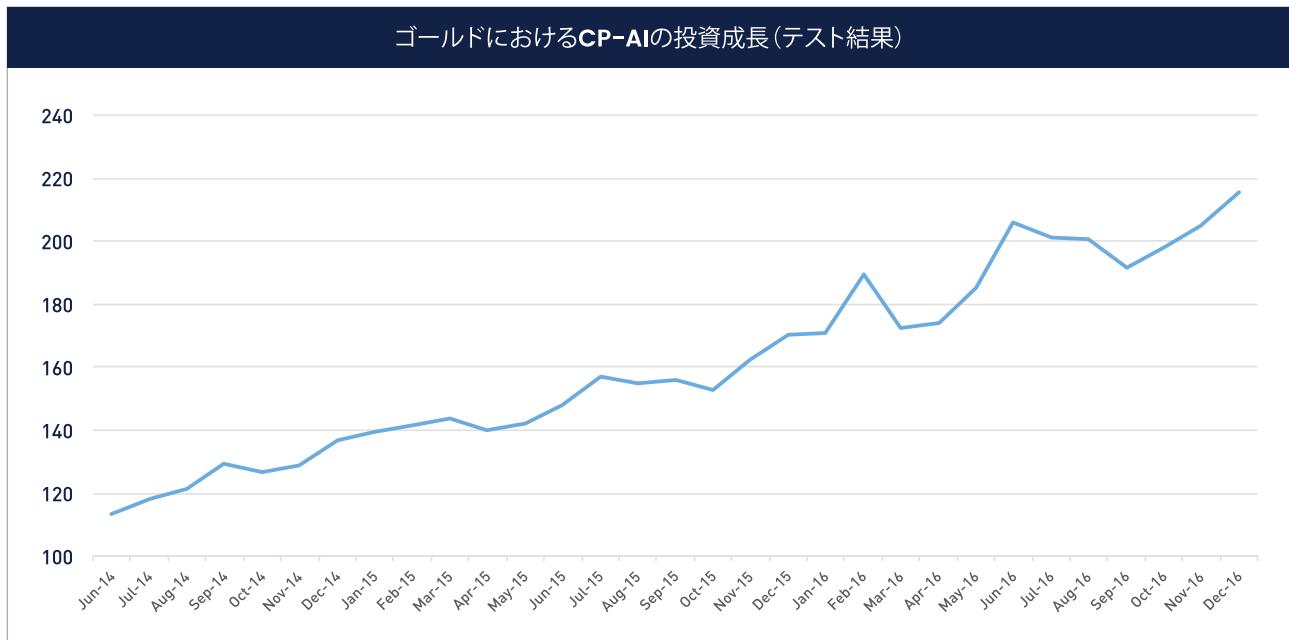
今年は、人工知能(AI)とその画期的な可能性について紹介しました。当社はすでに、市場を24時間体制で追跡し、毎日1時間ごとに購入、売却、またはアクション信号の番号を提供するために導入しています。また、24時間の取引分析とサポートのためにAIを活用しています。

AIのあり方とその仕組みをより理解して頂くために、AIをアルゴリズム取引と比較して説明します。後者は、単にプログラミング言語で書かれた一連の取引ルールの自動化です。たとえば、アルゴリズム取引では、コンピュータが特定の価格に達したときに資産を購入するための一連の命令を作成します。その一連の指示書を書くことの難しさは、購入するか売るか、そしてどの価格かを決定することにあります。これらの重要な問題は、重要な情報を抽出するために市場をスキャンする代わりに、人間の取引プロセスを強化し、価値を付加することができるAIを使用して対処されています。本質において、基本的な経済データリリークスおよび現行の金融政策から処理された情報、リアルタイムの価格変動だけでなく、サポートや抵抗レベルなどの事前定義された要因により、AIは知的シグナルを構築して、それぞれを実行する方法に関する教育的かつ付加価値のある提案を提供してくれます。

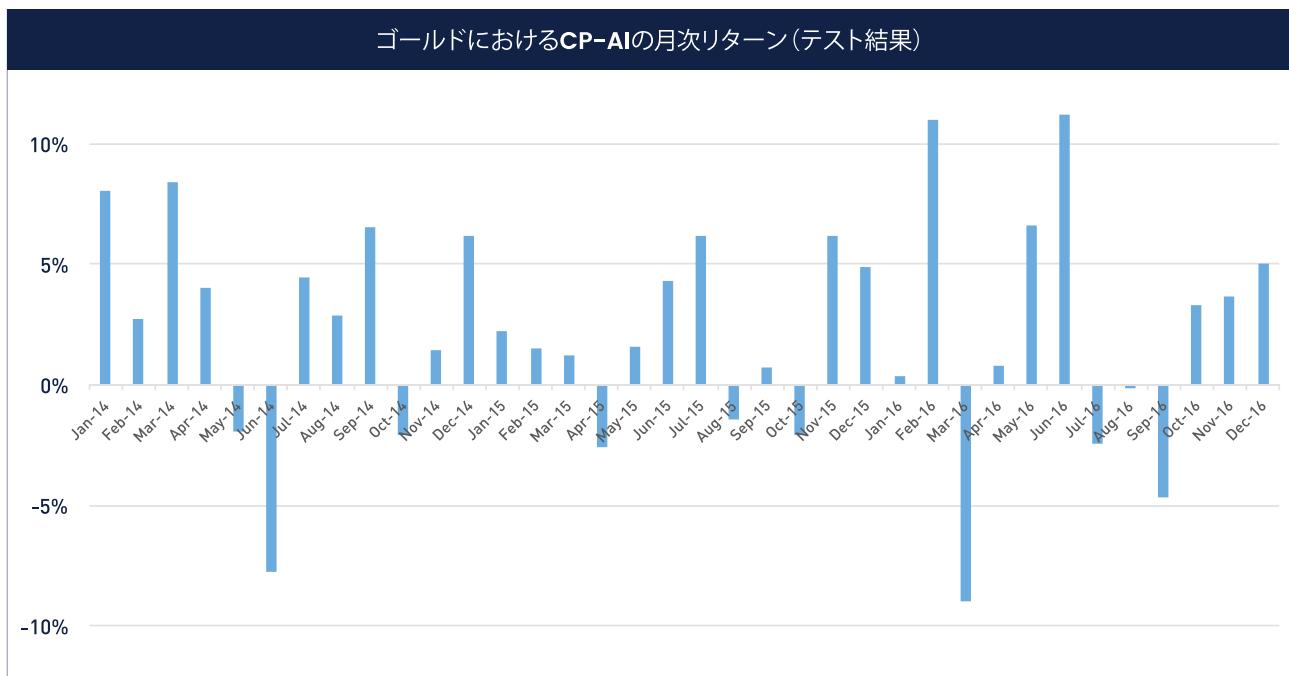


これは、今日の市場で勝利するためには、新しい情報にどれくらい迅速にアクセスし、それを解釈して取引信号に処理し、市場でそのポジションを実行できるかによって決まります。最終的には、AIを使用して取引信号とポジションをすべて自動化することを目指しています。

AIを使った私たちの作業を覗いてみましょう



私たちが研究しているモデルの1つは、ゴールドに基づいたものです。このモデルでは、2014年、2015年および2016年にそれぞれ36%、25%、26.5%の有望なテスト結果が得られ、AIを使用して年間30%を超えるリターンを達成できることがわかりました。このような奨励的な結果は1つの計測器だけで達成できるので、他の通貨や計測器に同じAI技術を適用することができます。このアプローチにより、最終的には、一緒に組み合わされたときに、下振れリスクがより高い利益を上げることができる一連の計測器を構築することを中心とした、AI主導の戦略を構築することができます。



潜在的なリターンは非常に有望ですが、発生している-6%と-8%のドローダウンシナリオを観察することが重要です。この最悪のシナリオが発生した場合に、-8%の最大減損が当社のポートフォリオ全体の自己資本比率に影響を及ぼさないようにするには、レバレッジ率を下げて導入する必要があります。しかし、これはリスク管理に役立ちますが、資本の関与が低いほど全体的な利益の可能性も低くなります。適切なレバレッジ比率の維持と常に潜在的な利益のための資本の正しい使用の確保とのバランスを取るために、戦略のさらなるカスタマイズが必要であると考えています。

当社の投資戦略は心の安らぎを提供しますが、一度の利益ではなく長期的に一貫した収益に焦点を当てることが当社の目標です。そのため、私たちは引き続き私たちの仕事に最先端の技術を採用していますが、私たちはAIの提案が基本的な貿易分析とは大きく異なる場合、いつでも人間の介入が許される慎重な取引アプローチを維持しています。

革新的な技術で未来に進出する

AIは今日、ホットな話題ですが、同時に技術革新は革新と画期的な進歩によって世界を興奮させ続けています。例えば、最近中国では、Alibabaは最近、いくつかのスーパー・マーケットで完全なデジタル支払い試験を開始しました。お好きなものを手に取ってお店を出て、支払いをするために並んでいないという不都合なことなく、スーパー・マーケットを想像してみてください。それはすべて、ウォータースルーセンサーを介して自動的に行われます。新しいイノベーションが伝統的なビジネス方法を混乱させ、我々が生きて行動する方法を大きく変えつつ、同時に新しい参入者と利益の可能性を創造することができます。



この手紙を書いている時点で、私たちはすでにベンチャーキャピタル、融資、プライベート・エクイティの新しいプラットフォームで深圳に進出しました。深圳は東のシリコンバレーになると多くの人が言っていますが、私はそれを疑うことはありません。当社の経験、実績、グローバルネットワークは際立っており、中国のネットワークが、投資家が超富裕層や特権グループのために通常確保される機会に参加することを可能にすると私は信じています。

そして、厳しい金融政策の新たな時代の準備が進んでいる間に、QEの時代と容易な融資の終焉に近づいている中央銀行は、今後10年間で利上げとインフレが顕著なテーマになる可能性が高い。このような環境下では、一桁の確定利回りはインフレだけで腐敗するため、長期的な富の計画には不十分である。

したがって、より大きな成長を達成し、新しい収入源を獲得するための新たな機会を創出するための技術への投資は、特に確定給付型投資家にとって重要です。私は次の高成長分野が技術的進歩によって支配され、中国は高度に関与すると信じています。

絶えず続く技術革新—CPグローバル様式



過去に市場に先立って新しい課題に備えて取り組んできた私たちの努力は、過去の市場危機や衝撃的な出来事の中で十分に試され、テストされてきました。

変更されたのは、私たちが取引でテクノロジーを活用する必要性が最も重要な時に、AIへの進出です。市場の不確実性が高まる時代になるにつれて、高速データマイニング機能を持たない企業は、急速に変化する市場に迅速に対応することができないため、不利な立場に置かれます。加えて、我々は、成長を先取りするために、技術の高度成長分野に参入する機会を探り続けます。

CPグローバルでは、常に革新が私たちの文化の根幹であると私は信じています。これにより、投資家は不安定な世界政治経済の中で安心して楽しむことができ、長期にわたり私たちと一緒に船に乗る特権を与えられました。確かに、当社のCPS-Master Private Fundは、1999年の立上以来、2,952.53%の優れたリターンを達成しています。私たちの歴史を通して、私たちは常に、市場を先取りして維持してきた関連性の高い最新かつ創造的なイノベーションを考え出してきました。今、私たちは技術でも同じことをしています。

CPグローバルを代表して、ご信頼並び引き続きのご関心をお寄せいただきまして誠にありがとうございます。いつものように、ご質問、ご要望、ご意見がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

何卒よろしくお願ひいたします。

最高経営責任者

お問い合わせに関しては、お客様のサービス仲介業者
または当社の日本語サービスセンター
(customerserv_japan@cp-today.com)
までご連絡ください。